

ご家庭での視力検査の方法

用意するもの

- 1 視標：ページ下の輪をそれぞれ切り取り、20cm四方くらいの白い紙にはり、検査の指標とします。（図1を参考にしてください。）
- 2 眼帯：ガーゼまたはティッシュペーパーを5cm四方くらいの大きさに折って、バンソウコウまたはセロテープで、のぞかれないようにしっかりとめる。
- 3 距離を測るためのものさし、またはメジャー

検査の方法

- 1 楽に本が読める程度の明るい部屋で行います。
- 2 視力検査の練習をします。
 - (1) お子さんと1mくらい離れて向かい合い、大きい輪の視標を見せます。まず、両目を開けて行います。
 - (2) お子さんに輪の切れ目の方向を指か手で示してもらうか、または図2のような輪を厚紙で作ってお子さんに持たせ、輪の切れ目の向きを合わせる方法で答えさせます。
 - (3) 輪の切れ目の方向は右、左、上、下の四方向とします。視標の向きを変えるときは、必ず一度視標をかくしてから変えてください。
 - (4) 1mくらいでできたら、今度は2.5m（できるだけ正確に計ってください。）離れて行ってください。
 - (5) 両目を開けて、輪の切れ目の方向を正しく答えられますか。
 - (6) 片目をかくす練習です。右目、左目それぞれをかくして答えさせてください。
- 3 検査方法が理解できたら、いよいよ検査をします。
 - (1) 小さい輪の視標を使い、2.5mで行います。検査の方法は、大きい輪の時と同じように行います。
 - (2) まず、両目で検査を行います。上下左右の四方向見せて、3方向以上正しく答えることができたなら「見えた」とします。
 - (3) 次に、左目をかくして右目の検査を行ってください。見にくそうだったり、いやがったりするときには、左目から検査してください。両目の時と同じように判定します。
 - (4) 続いて、かくす目を変えて左目（または右目）の検査を行い、判定します。
 - (5) 結果をアンケート用紙の＜視力検査の結果＞欄に記入してください。

図1 視標の見せ方



図2 切れ目の答え方

